

周りの人が虐待に気づくきっかけ

子どもの様子

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴っている声が聞こえる
- ・不自然な外傷(あざ、打撲、やけど)などが見られる
- ・極端な栄養障害や発育の遅れが見られる
- ・衣服や身体が極端に不潔である
- ・食事に異常な執着を示す
- ・ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- ・表情が乏しく活気がない(無表情)
- ・態度がおどおどしており、親や大人の顔をうかがったり、親を避けようとしたりする
- ・誰かれなく大人に甘え、警戒心が薄い
- ・夜遅くまで遊んだり、徘徊したりしている
- ・家に帰りたがらない

親の様子

- ・地域や親族などと交流がなく、孤立している
- ・小さい子どもを家に置いたまま、よく外出している
- ・子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- ・子どもを甘やかすのはよくないと強調する
- ・子どもに対して拒否的な発言をする
- ・気分の変動が激しく、子どもや他人にかんしゃくを爆発させることが多い
- ・子どもがケガをしたり、病気になっても医者に診せようとししない
- ・子どものケガについて不自然な説明をする

「虐待かも」と思ったらすぐにお電話ください
あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます



【QRコード】



お住まいの地域の児童相談所につながります。 ※一部のIP電話からはつながりません。
※通話料がかかります。

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や内容に関する秘密は守られます

もしくは

- 市役所子育て支援課(総和庁舎) ☎92-3111 (平日：午前8時30分～午後5時15分)
- 古河警察署(生活安全課) ☎30-0110
- 筑西児童相談所 ☎0296-24-1614 (平日：午前8時30分～午後5時)
- いばらき虐待ホットライン ☎0293-22-0293 (24時間対応)